

ID ^{注1)}	161210	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	151202
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 /調査名称	平成28年度 白神山地周辺地域（青森県側）における中・大型哺乳類調査業務報告書						発行年月/報告年月	
							2017年	3月
							資料形式 ^{注2)}	報告書

調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター	委託機関	
------	-------------------------	------	--

調査開始年	2014年	5月	調査期間	2016年	5月	～	2016年	12月
-------	-------	----	------	-------	----	---	-------	-----

調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	夏	秋
---------------------	----	---	---------------------	---	---	---

モニタリング計画	2012年3月 策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1) (3)
----------	------------	-------------------	----	--------------------	---	--------------------	---------

調査箇所・範囲 ^{注3)}	調査手法
------------------------	------

核心地域
 緩衝地域
 周辺地域

GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

■目的
 白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査に位置づけられている中・大型哺乳類の生息状況を把握する事を目的に、白神山地周辺地域において自動撮影装置による調査を実施した。また環境省と協同して、近年白神山地周辺で目撃例が相次いでいるニホンジカやハクビシン等の分布拡大の状況把握にも努めた。

■調査対象種
 中・大型哺乳類

■自動撮影装置設置箇所
 ・深浦町：8箇所 ・鯉ヶ沢町：4箇所
 ・弘前市：4箇所 ・西目屋村：4箇所
 以上、白神山地周辺の青森県側に、合計20箇所30台設置した(図1)。

■調査期間
 平成28年5月13日～平成28年12月22日

■使用機器
 ・TREL10J：20台（全箇所1台ずつ設置）
 ・Fieldnote DUO：10台
 （図1：①③⑤⑥⑧⑬⑮⑯⑰⑲に1台ずつ設置）

■集計方法
 撮影された画像について種名や個体数等の判別を行い、調査地点別・月別・時間別に集計した。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

TREL10Jで撮影された動物の個体数（連写の場合は、一連の撮影で写った最大頭数）を集計したところ、全調査地点を通して合計1218個体、そのうち哺乳類は1192個体であった（表1）。最も個体数が多かった種はニホンザルの236頭で、次いでカモシカ182頭、ニホンウサギ155頭、タヌキ122頭、アナグマ83頭と続いた。Fieldnoteの画像も含めて正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類15種、鳥類5種、爬虫類1種であった。

撮影個体数が特に多かった調査地点としては、④の156個体、⑨の141個体、⑯の130個体、②の111個体、⑩の103個体が挙げられる。一方、昨年度の調査でニホンジカ♂1頭が撮影された⑫については、ツキノワグマとカモシカ1頭ずつのみの確認となった。

ニホンジカについては、⑥で6月18日に1頭、⑧で10月8日に1頭、④で10月20日と11月6日に1頭ずつ、⑦で11月6日に1頭の合計5頭が撮影された。全てオスで、メスは確認されなかった。

また、ニホンジカ同様分布拡大が懸念される種として、アライグマが⑬で2頭、ハクビシンが11箇所合計60頭、イエネコが3箇所合計6頭撮影された。

問い合わせ	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2754 青森県西津軽郡鯉ヶ沢町大字米町25-2 TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932 ≪原本（データ）の帰属について≫
-------	---

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

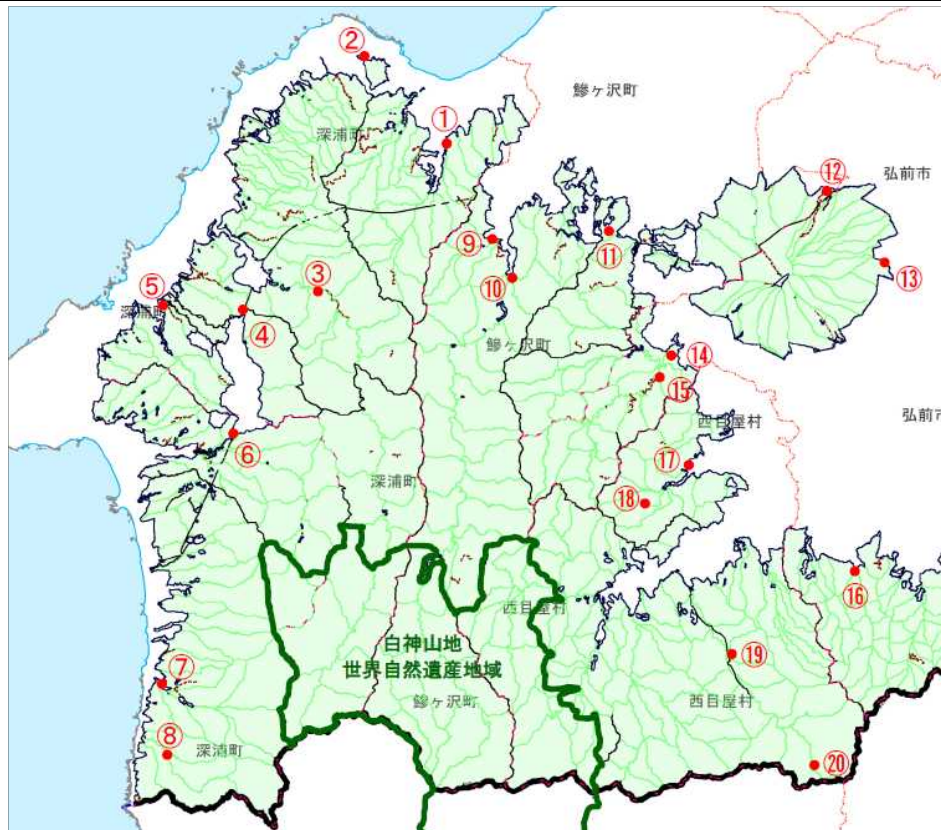


図1 平成28年度 自動撮影装置設置箇所

表1 自動撮影装置による各調査地点の確認種・個体数

(●: Fieldnoteでのみ撮影されたもの, 個体数には含まず)

地点No.	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	計	
ニホンザル	17	8		7	41	6	16	8	3	22	11			15	13	18	4	17	30	236	
キツネ		14	11	17	6		3	1			1		1		●	2	2			58	
ヌキ	12	10	15	37	8	●	1	4	1	9	1		3	1	1	6	2		11	122	
イヌ																			2	2	
ツキノワグマ		2	1	7	2	3	9	10	1			1	6	3	2	5	4	2	8	1	67
アライグマ													2							2	
テン		2		2	1	●		1		3			●	1	2	5	2		2	12	33
イタチ			●								4		●				1			5	
アナグマ	7	4	24	20	2		1	2	4	4			4			5			6	83	
ハクビシン			2	4			3	1		23	1		2		6	14			3	1	60
イネコ		3		2				1												6	
ニホンカ				2		1	1	●												4	
カモシカ		22		15	8	9	14	20	1	5	17	1	2	9	15	26	9	6	2	1	182
ニホンリス						●		●					●							1	1
ニホンウサギ	3	1	3	21		●		6		9			1	2	6	23	3	2	62	13	155
不明コウモリ類	●																			0	
不明ネズミ類																				12	12
不明哺乳類	3	43	5	22	9	1	5	3	2	19	1		9		2	19	1	1	13	6	164
哺乳類個体数合計	42	109	61	156	77	20	53	57	12	98	32	2	30	31	47	123	28	28	139	47	1192
哺乳類種数合計	4	9	7	11	7	8	8	12	5	8	5	2	11	6	8	9	8	4	9	6	15
ヤマトリ	●		●					●							●			●	2		2
キジハト		2				●				5				2		7	3				19
ノスリ													●								0
カス																				●	0
ヤマガラ								●													0
不明鳥類	2							1					1							1	5
ヤマカシ															●						0
全個体数合計	44	111	61	156	77	20	53	58	12	103	32	2	31	33	47	130	31	28	141	48	1218
全種数合計	5	10	8	11	7	9	8	14	5	9	5	2	12	7	10	10	9	5	10	7	21